

2014 年年間（1-12 月）課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、マイナス（-1.5%）。
- ◆ ビール市場は、マイナス（-1.0%）。
- ◆ 発泡酒市場は、プラス（+4.4%）。
- ◆ 新ジャンル市場は、マイナス（-4.4%）。

《トピックス》

- ・ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、消費増税や夏場の天候不順が影響し、マイナス着地。
- ・ 発泡酒市場は、機能性商品の活性化により、12年ぶりのプラス。

2. キリン公司概况

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、マイナス（-6.1%）。
- ◆ ビール計は、マイナス（-2.8%）。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス（-3.2%）。
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス（-11.3%）。

《ビール》

- ・ 「一番搾り」計は、年初から取り組んできた「一番搾りブランドセミナー」や「一番搾りコンセプトショップ」、キャンペーン施策の効果もあり、対前年+0.6%で着地。

《発泡酒》

- ・ 「淡麗フラタダブル」は、年間販売目標を大きく上回り着地。機能性商品として高い支持を獲得している。

《新ジャンル》

- ・ 「のどごし」計は、ブランド強化に取り組んだ10-12月はプラス。

《RTD》

- ・ RTD計は、「氷結ストロング」や「本搾り」「ピターズ」の好調により、+15.6%で着地。

※ブランド別の対前年比は販売数による。

以上